

西栄寺だより

新年号



No.140

令和 8 年

西栄寺 節分会のご案内

西栄寺 節分会とは？

西栄寺節分会（阿弥陀もうで）法要は、浄土に還られた亡き人の為だけの法要ではありません。

今を生きる我々がこの世の苦しみや悩みを受入れ乗り越える為に、阿弥陀様の大きな慈悲の御教えに触れ、慈光に包まれて日々生かされている事に気づかせていただく、報恩感謝を示す法要です。

大阪本坊本堂にて二月三日節分会にて、皆さまと共に一同で阿弥陀経を読誦しひと時お念仏（阿弥陀もうで）をさせていただきます。

日々を苦悩する今を生きる我々。阿弥陀如来の大きな慈悲を求めて信心をいただき、**報恩感謝の証として「記名奉書」にご自身・ご家族・故人様など、大切な方のお名前を記して納めてみませんか？**

納められた「記名奉書」は、一年間大阪本坊のご本尊の御元にお供え致します。

令和 8 年 2 月 3 日 (火) 9:00 ~ 9:45

大阪本坊にて 記名奉書 1 体 5,000 円

ご参加の出欠はとりませんので、自由に法要に参加できます。

記名奉書された方全員に、住職直筆の尊號礼状を、後日送付いたします。



住職より新年のご挨拶

今年も新しく始まった。

いつもの事ながら今年も事業計画から始まるが、昨年は堺中百舌鳥の駐車場拡張や大阪本坊中ホール of 北側倉庫を取得、そして11月に尼崎長洲泰心館をオープンすることが出来た。今年には行き詰っていた岸里別院がいよいよ表通りに進出しての新築する事となり、また堺支坊に新たに納骨堂を建築することとなった。

住職もそれなりに積年の真っ最中であるが、いよいよ最後の事業計画になるのではなかろうか？

住職と拝命された以上、それなりの実績を見出しお檀家様に親しまれ、信頼されるように頑張ってきたつもりではあるが、ただやんちゃな住職として終わっているのではないだろうか？

大きな声を出した者勝ちの世相。強いものが勝つような世の中での仕組み。侵略戦争で勝ったつむりの国がある今の世の中ではあるが、「西栄寺はどんな嫌がらせにも、どんな暴力も絶対に屈しない」この精神を貫いていきたいものである。

とはいえ八十五になった住職ではあるが、堺の納骨堂や岸里別院などの完成をしっかりと見届け、さらなる発展を目指したいものである。



毎年恒例の僧侶のあいさつは、今年からホームページにて記載いたしております。右のQRコードからどうぞアクセス願います。



◀他の僧侶の挨拶はこちらのQRコード

西栄寺ホームページ

Instagram
【saiei9444】で検索

Facebook
【西栄寺本坊】で検索

YouTube
【泰心山西栄寺】で検索

X
【泰心山西栄寺】で検索

TikTok
【西栄寺本坊】で検索

情報発信中

ヨビの
西栄寺 なつかし写真館



住職これはいつ頃の写真にゃ？

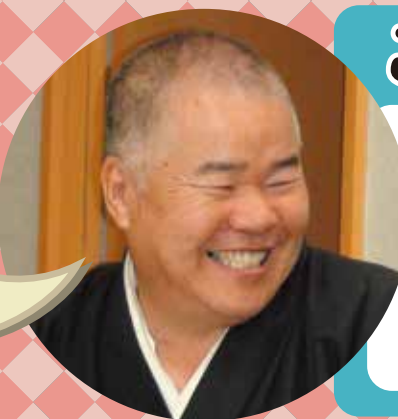
これは龍谷大学に在籍していた頃の写真ぢゃ。後ろの建物は西本願寺じゃな。



シュッ！ としてカッ！ いいにや

この頃のわしは、意外に勉強熱心でな、女子には見向きもしない硬派な青年だったぞ。

西栄寺は楽しいイベントがもりだくさん！



こころ塾

毎月第4水曜日・10時～

住職の楽しい法話と西栄寺バンドの生演奏と月替わりで様々なゲストを招いてのイベントを開催しています。

俳句会 毎月第4水曜日 こころ塾終了後

どなた様でも自由に参加でき、入選者は西栄寺山門に貼り出します。

多彩なクラブ活動！

※クラブ活動はそれぞれ会費がございます。
詳しくは西栄寺大阪本坊までお問合せ下さい。

日	月	火	水	木	金	土
	【歌声サロン】 第1・第2・第3 10時30分～ 【囲碁】 毎週13時～ 【日舞】 毎週14時～	【将棋】 毎週14時～ 【煎茶】 第4、14時～	【チャージング】 毎週16時～ 【健康体操】 第1、第3、 14時～ 【こころ塾】 第4、10時～	【カラオケ】 毎週13時～ 【将棋】 毎週14時～	【カラオケ】 毎週13時～	【居合道】 毎週10時～ 【将棋】 毎週14時～ 【空手】 毎週16時～ 【編み物】 第1・3、13時～

「スマホ西栄寺」を、ご活用下さい

メールアドレスの登録で便利な機能が使えます!

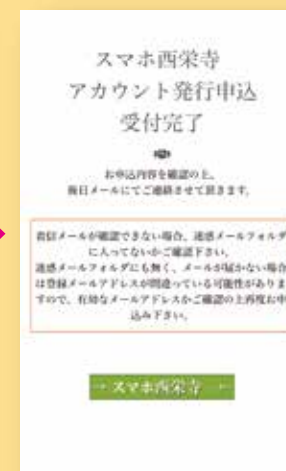
スマホ西栄寺では、自分の家の過去帳や年忌表を確認することができます。

また月参りの確認や変更、大法要の申込など、門徒様にとって便利な機能が充実しております。

まずは登録申請▶



携帯会社のメールを使ってる方は、**saieiji.jp** をブロックしないように、設定をお願い致します。また、**Gmail** をお使いの場合、迷惑メールに振り分けられる場合があります。



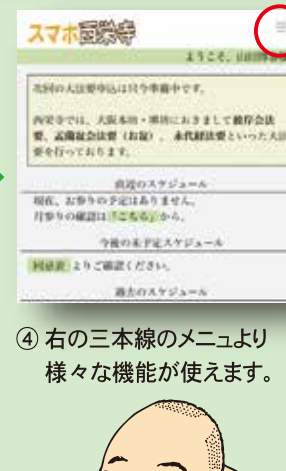
- ① この画面を下へスクロールすると入力欄があります。
- ② 必須項目を入力して下さい。
入力が終わりましたら確認のボタンを押してください。
- ③ 間違いないければ申し込むのボタンを押してください。
- ④ 先ほど登録したメールにパスワードが送られます。

「スマホ西栄寺アカウント発行のお知らせ」のメールを受信したら

スマホ西栄寺
入り口



もし、判らない事があれば
06-6473-9444 西栄寺まで!!



- ① スマホ西栄寺の入り口です。
ログインボタンを押してください。



週に一度、専門学校で宗教学を教え始めてから丸6年が経ちました。仏教はもちろんキリスト教やイスラム教、神道、古代宗教など様々な宗教を教えるために私自身も勉強に追われる日々を送って参りましたが、最近になって気付いた事があります。

それは、私の知る範囲においてはありますが、どの宗教にも必ず共通する「ある特徴」が存在するという事です。それによって宗教とは何か、そのほんの一端をもしかしたら上手く説明する事が出来るのではないかと、思うのです。

そもそも宗教をどう定義するか、という問題は実は未だにはきりしていません。それこそ宗教学者の数だけ宗教の定義が存在すると言っても過言ではないでしょう。それくらい宗教の世界は果てしなく広大です。宗教の歴史は人類史そのものであり、人類の歩みは常に宗教とともにあったのですから、人生とは何か、生きるとは何か、そういう深淵なテーマとはほぼ同義だと申し上げても差し支え無いのではないかと思います。

さてあまり引つ張って無駄にバードルが上がりきる前に私なりの気付きを記しておきたいと思ひます。それは「全ての宗教は自己中心性からの脱却を目指す、もしくは機能としてそれを内包している」ということです。

これは仏教徒ならではの視点ではないかと自負しております。何故なら悟りとはまさしく自己中心性からの脱却であるからです。前回のこの欄で触れたように、お互いがお互いに影響を与え合う縁起という視点で自己を再定義する事で、「私」とは独立した存在ではなく、あらゆるものの関係性の中で生かされている不安定な代物でしかない事に気付かされます。世界は「私」と「私以外」で成り立っているのではないこと、あらゆるものを含めた「私たち」の一部分としての「私」であることに目覚めていくのです。よく「宇宙と一体となる」という表現を聞いたりしますが、それは決して怪しげなオカルト的な話ではなく、純粋に理論によつて導かれるべき到達点なのです。

要は人類皆兄弟の拡大版です。宇宙全体、森羅万象がみんな兄弟なのです。「私」だけが特別であるという自己中心性とは真逆の概念です。私は特別ではない、しかし、あらゆるものと縁によって繋がっている。世界や宇宙といった言葉を仏と読み替えても良いでしょう。繋がっている、という感覚が「私」を一人にさせません。主語が「私」から「私たち」になっていく、自己中心性から離れることによってなんとも素晴らしい生き方がそこから広がっていくのです。

他の宗教にも目を向けてみましょう。例えばキリスト教やイスラム教などの一神教においては世界の中心は当然「私」ではなく「神」であります。神の御心に従う事、つまり主である神と従である

私という構図は必然的に自己中心性からの脱却に繋がっています。また日本の神道も同じく人間の上位存在である「カミ」が「ムスデイ」の中心となります。「カミ」を無視して「私」が好き放題に振る舞うことは許されません。「カミ」を畏れ敬う姿に自己中心性からの脱却が垣間見えます。

仏教各宗派の中でも特殊と言われる浄土真宗においても、自力を捨て他力に帰すというように、阿弥陀仏に全てをお任せする生き方そのものが自分中心の世界を離れ阿弥陀仏中心の極楽浄土に繋がっていくのです。こういった宗教では世界の中心に神や仏といった上位者が座することによって自然と「私」が世界の中心から外れていくこととなります。また、同じ信仰を持つ者同士の横の連帯が生まれるのも特徴でしょう。他人同士であつても信仰を同じくする仲間としての繋がりは私たちにとつて非常に心強い支えとなります。

ただしこれらの場合、仏教の完全な悟りとは違つて「私たち」という繋がり規模がどうしても限定されてしまつて、小さな「私たち」同士の争いが起こりやすくなつてしまひます。集合体であるはずの「私たち」がまるで一つの人格に統合された自己中心的な「私」として振舞つてしまふのです。己の欲を振りかざして相手を排除しようという動きは、個人に止まらず国や企業といった集合体でもよく見られるのですが、残念ながら宗教もその歴史において例外ではないことを私たちは知っています。キリスト教とイスラムの争い然り、浄土真宗と日蓮宗をはじめとした仏教各宗派の争い然り、そのような事例は枚挙に暇がありません。

完全な自己中心性からの脱却はそのまま悟りですから、そこに至るのは非常に困難な事です。宗教を信仰するものが即、自己中心性からの脱却を実現してくれる訳でもありません。宗教同士による争いの歴史は宗教指導者を含めた人類の愚かさや嫌というほど私たちに突き付けてきます。しかしそれは逆説的に我々の目指すべき道筋を指し示しているようにも思ふのです。諸宗教はそれぞれにその理想に至るための機能を既に備えています。いずれの宗教においても「自己中心性からの脱却」を目標においている、もしくは結果的にそうなるべき機能を備えているのは間違ひありません。キリスト教の隣人愛も、仏教の慈悲の精神も、本来は争いから一番遠いところにあります。問題は常に我々人間の自己中心的な心から発しているのです。

博智のつぶやき

その悲しき心から離れ、そこから救われるのは真実の信心、真実の信仰をいだいた人だけだろうと私は確信しています。

現代は「個」の時代だと言われます。個人の自由と権利を尊重することが重要視され、反対に全体主義的な論調は極めて厳しく批判されます。例えば会社全体の利益を優先させるあまり社員一人一人の自由と権利を侵害する企業は「ブラック企業」と不名誉な烙印を押され批判の的となります。独裁政権の圧政には断固立ち向かうべしと誰もが思ひます。これは当然そうあるべきものです。しかしその反面、一握りの資産家が富を独占して庶民が貧困にあえぐ格差社会の問題は深刻さを増しております。ごく少数の声の大きなクレーマーと言われる方々について大多数が不利益を被ることもあります。我が子可愛きのあまりモンスターペアレントと呼ばれる方々、客という立場をかさに着て相手を威圧するカスタマーハラスメント、「老害」という信じられない言葉で年長者を排除しようとする若者、それぞれが自己中心性の毒に侵された病人のように思えて仕方ありません。「個」を尊重するのは大事なことです、それと同時に思いやりの心が無ければ世はますます住みにくい世界に成り下がつてしまふでしょう。こんな現代だからこそ私たちは宗教の素晴らしい側面に注目するべきではないかと思ひます。そうあつて欲しいと願うばかりです。

争いは己の利益、己の都合、己の自尊心のために起こります。宗教間での争いも結局はそれです。例えば宗派のトップであつたとしても真実の信心、真実の信仰に辿り着けなければ自己中心性の檻から抜け出す事は難しいでしょう。かく言う私もまだまだ、只の自己人間でしかありません。だからそこからも真剣にお念仏をいたさき、己と向き合つて参りたいと思ひます。真実の信心はなかなか遠いものですが、そこに至るまでの道のりもまた素晴らしいものであるはず。日々のお勤めが今日も私を一步一步に進めてくれることを祈念して、合掌。

こころ塾 悠々泰心 俳句会

俺が逝く私が先と鍋の夜

暮れてなお舞うや小雪の薄明り

山寺の岩苔隠す細雪

幸せの兆しとなりて初日の出

能登や能登いのちの祈り除夜の鐘

夢の中駿馬に跨り初詣

元旦や見上げる空は輝かし

初笑いみかん頬張るこたつわり

年々と小さくなりて鏡餅

異国語の飛び交う神社初詣で

甲羅酒至福の時ぞ夢如し

毎日が初心と臨む初日の出

新春の光ひとすじ寺の朝

初春や夢いっぱい富久希う

名と天賦置きて往りし秋苗

短歌

荒れる海唸る電線雪あられ

故郷は今真さにシンホニー(冬)

文子 泰心 香邦 洋翔 ヨネキチ 佳美 博凜 寿々 澤 經武士 誠心 葉月 享花 勤山 天命 玄秋

お寺の介護 はいにこぼん だより

第23回



「新年のごあいさつ」

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。今年も、お寺の介護はいにこぼんは、西栄寺とともに、檀信徒さまや介護サービスのご利用者さまのお役に立てるよう尽力する所存です。

「一年の計は元旦にあり」という格言がありますが、お寺の介護はいにこぼんでは、職場環境の向上を今年のテーマと位置付けます。介護業界は深刻な人手不足ですが、職員の処遇改善によって離職を防ぎ、多くのご利用者さまに安定した介護サービスを提供しなくてはなりません。国の介護政策も、介護職員に対する加算の増額などで後押しする兆しがみえます。

西栄寺の介護福祉部も、浄土真宗の御同胞精神を基盤にして、介護職員ひとりひとりが快適に勤めることのできる事業所を目指します。



にこぼんマガジン

「お寺の介護はいにこぼん」がお届けする、情報発信サイト

イベント・セミナー情報

最新の介護情報

施設・スタッフ紹介

ちょっとしたお話など



QRコードで
簡単アクセス



僧侶とスタッフのご紹介

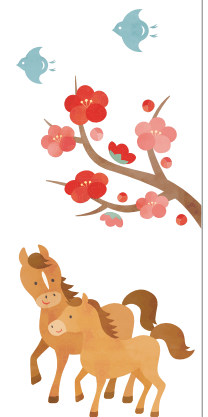
◎ 大阪本坊

住職
山田 博泰副住職
山田 貴仁副住職
上田 健二大阪本坊 主任
福山 伸二大阪本坊 院代
辻元 涼大阪本坊 院代
野田 智仁大阪本坊 院代
貝田 仁司大阪本坊 院代
鶴田 隆史大阪本坊 院代
木村 有光大阪本坊 院代
橋 照善大阪本坊 院代
徳永 範男大阪本坊 院代
小田 慧信大阪本坊 院代
西田 清文寺務経理部 寺務長
金城 真弓整備士
有馬 孝浩

◎ 堺支坊

堺支坊 主任
宮原 伸介堺支坊 副主任
金田 晃堺支坊 副主任
山中 勝栄堺支坊 院代
石山 直樹堺支坊 院代
植田 達也堺支坊 院代
山田 那由太寺務経理部 副寺務長
田中 文子寺院経理部
山下 洋子

◎ 西宮有馬支坊

西宮有馬支坊 僧侶
吉田 敬一西宮有馬支坊 院代
松井 康博東京別院 輪番
榎本 勝彦東京別院 院代
佐々木 崇文東京別院 院代
鈴木 淨信寺務員
榎本 幸子久遠泰心堂 営業部
櫻井 八代江

◎ お寺の介護 はいにこぼん(居宅訪問課)

(居宅訪問課) 主任ケアマネージャー
岸下 和美(居宅主任) ケアマネージャー
中村 裕子(訪問主任) 介護福祉士
木村 幸代(居宅) 主任ケアマネージャー
野中 郁子(居宅) 主任ケアマネージャー
松山 貴則(訪問) 介護福祉士
永田 知美(介護福祉部) 事務長
藤本 美紀

◎ お寺の介護 はいにこぼん(デイサ高住)

(デイサ高住課) 介護福祉士
出口 千生(デイサ高住主任) 介護士
中嶋 章子(デイサ高住副主任) 介護福祉士
向井 純子(デイサ高住副主任) 介護士
落合 幸弘(デイサ副主任) 柔道整復師
池内 新(デイサ高住) 介護士
曾我部 維久子(デイサ高住) 介護士
尾脇 大智(デイサ高住) 介護士
末廣 歩令和8年
年回表

1周忌 令和 7年

13回忌 平成 26年

27回忌 平成 12年

43回忌 昭和 59年

3回忌 令和 6年

17回忌 平成 22年

33回忌 平成 6年

47回忌 昭和 55年

7回忌 令和 2年

23回忌 平成 16年

37回忌 平成 2年

50回忌 昭和 52年

ご法事は**ご命日の約3ヶ月前**より承っております。但し、ご命日に法要を営まれる方を最優先しておりますので、**ご命日以外でのご法事をご希望の場合**の予約時間は、こちらから指定させて頂く場合がございます。予めご了承ください。

宗教
法人

泰心山 西栄寺

大本山 大阪本坊

〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島1-6-17
TEL.06-6473-9444 FAX.06-6473-4200

東京別院

〒123-0865 東京都足立区新田3-1-9
TEL.03-3912-9444 FAX.03-3912-5969

尼崎本坊

〒660-0822 尼崎市杭瀬南新町3-2-24
TEL.06-6482-0141 FAX.06-6473-4200

西成支坊

〒557-0042 大阪市西成区岸里東1-1-4
TEL.06-6652-4772 FAX.06-6652-8050

堺支坊

〒591-8023 堺市北区中百舌鳥町1-201-2
TEL.072-257-0443 FAX.072-257-0447

一念寺

〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島1-6-17 西栄寺内
TEL.06-6473-9444 FAX.06-6473-4200

西宮有馬支坊

〒651-1422 西宮市山口町金仙寺1680-7
TEL.078-903-2088 FAX.078-903-2088西栄寺別院
北大阪泰心館〒564-0033 吹田市東御旅町3-2
TEL.06-6105-9200 FAX.06-6105-9505